

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも 守ろう

17 パートナースhipで 目標を達成しよう



組合員の思いがこもった 署名を届けました!

署名を手渡す、やまぐち理事長の佐々木春代さん(左)と、くまもと理事長の高濱千夏さん(中央)

新たな遺伝子操作技術「ゲノム編集」で作られた食品や作物には多くの問題や危険性があるとして、遺伝子組み換え食品 いらぬ! キャンペーンと日本消費者連盟は、2019年5月に「すべてのゲノム編集食品・作物の規制と表示を求める」署名活動を始めました。全国の同じ志をもった仲間がそれに応え、9月に開かれた署名提出院内学習会では、第一次集約分として8万筆以上の署名を各都府県に提出しました。しかし政府は、私たち市民の声に応えることなく、直後の10月には、DNAを切断しただけのゲノム編集食品は規制せず流通を開始させてしま

署名提出院内学習会



全国の仲間とともに  
「<sup>※1</sup>ゲノム編集食品は いらぬ!」と  
声をあげ続けよう!

グリーンコープは、食の安心・安全を守るため、遺伝子組み換え技術やゲノム編集技術で遺伝子を操作された食品や作物に対して、反対運動を続けています。2019年度は、ゲノム編集食品・作物の規制と表示を求める署名を組合員に呼びかけ、75,063筆が集まりました。

その署名を持って2020年1月30日に東京の衆議院第一議員会館で開かれた「署名提出院内学習会」に9人の組合員が参加し、全国の仲間が集めた署名と合わせて365,173筆(19年9月25日までに届けた第一次集約署名分を合わせると、447,725筆)を、厚生労働省、農林水産省、環境省、消費者庁の担当者へ手渡しました。

諦めずに声をあげ続ける

新たな遺伝子操作技術「ゲノム編集」で作られた食品や作物には多くの問題や危険性があるとして、遺伝子組み換え食品 いらぬ! キャンペーンと日本消費者連盟は、2019年5月に「すべてのゲノム編集食品・作物の規制と表示を求める」署名活動を始めました。全国の同じ志をもった仲間がそれに応え、9月に開かれた署名提出院内学習会では、第一次集約分として8万筆以上の署名を各都府県に提出しました。しかし政府は、私たち市民の声に応えることなく、直後の10月には、DNAを切断しただけのゲノム編集食品は規制せず流通を開始させてしま

※1ゲノム編集食品は何が問題なのか

ゲノム編集とは、生命にとって大切な遺伝子を壊す技術。目的とするDNAを切断して遺伝子を壊すことができるようになったために、家畜や魚などに応用が広がっている。例えば、成長を抑える遺伝子を壊して大きく成長させた魚や豚などが開発されている。

日本でも収量増が見込まれる稲が開発され、試験栽培されている。今後市場に出て、外食産業などに広く取り入れられる可能性がある。

ゲノム編集では、DNAを切断した部分に、別のDNAを挿入することもできる。これは新たな遺伝子組み換え技術とも言える。しかし、ゲノム編集は、目的以外の遺伝子を壊す「オフターゲット」を頻発し、その生命体にとって大きな影響を与えるだけでなく、環境や食の安全にも影響を及ぼす危険性がある。また、遺伝子を壊すということは、体内の複雑なネットワークのバランスを壊すことにもなる。



切実な母親の思いを訴えるとして理事長の小椋あけみさん

※2 ヒューマンチェーンで 母親の思いを訴える

院内学習会の開始前には、厚生労働省前で「ヒューマンチェーン」をつくってアピールし、ゲノム編集食品反対を強く訴えました。

子どもたちのためにも食べものを守ってほしい」と訴え、署名を各都府県担当者へ手渡しました。

遺伝子組み換え食品 いらぬ! キャンペーン代表の天笠啓祐さんは、「署名運動を始めて約半年という短い期間で、予想をはるかに超える数の署名が集まりました。この問題への関心の高さを表していると思います。消費者としてゲノム編集食品の規制や表示をしてほしいとの強い思いを各都府県へ伝えていきましよう」と参加者へ呼びかけました。



No.141

「グリーンコープの残留放射能検査について」 ~内部被曝を避けるために~

グリーンコープは食品の放射能汚染の実態を知り、自主的に判断できるように1989年から供給する食品の放射能測定を始め、結果を報告してきました。現在の検出限界値は概ね食品1キロ当たり1ベクレル以下。これは非常に詳しい数値であり、安心して食べものを選ぶための目安となります。検査をするためには経費・時間はかかりますが、私たちが食べるものを選ぶために必要なこととして残留放射能検査を継続してきています。

食品とともに体内に取り込まれる内部被曝は、たとえ低レベルであっても体の中に留まっている間、放射線を出し細胞に損傷を与え続けるので、特に成長期の子どもたちには避けなければなりません。だからこそしっかりと検査し安全性を確かめることが、内部被曝を避けるために不可欠です。

このような心配がつきまとう原子力に頼らない、再生可能エネルギーによる発電を進めましょう。

グリーンコープ共同体組織委員会

院内学習会の開始前には、厚生労働省前で「ヒューマンチェーン」をつくってアピールし、ゲノム編集食品反対を強く訴えました。

一般社団法人グリーン・市民電力は、  
一般社団法人  
**グリーンコープでんき**  
に、法人名を  
変更しました!!

ひろがれ! 私たちの発電所

グリーンコープ・グリーン電力出資金  
11,579人 1,111,630,000円 (2020年4月14日現在)

「原発の電気ではなく、自然エネルギーでつくった電気を使いたい」という願いをかなえるために、グリーンコープグリーン電力出資金に協力しましょう

「自分たちの使う電気は、自分たちでつくろう」と、グリーンコープ各生協の総意の下、2012年10月、「一般社団法人グリーン・市民電力」を設立しました。以来、自然エネルギーの発電所づくりと電気の小売事業を進めてきました。

2020年4月1日より、さらなる躍進をめざして、「一般社団法人グリーンコープでんき」として生まれ変わりました。「原発フリー」・「※二酸化炭素排出ゼロ」のグリーンコープでんきは、一段と環境を保全できる電気となりました。

※電気事業者別排出係数—平成30年度実績—(環境省・経済産業省公表)

| 2020年2月の売電量   |  |
|---|--|
| 神在太陽光発電所売電量<br>68,710kWh<br>定格出力1,057kW(309世帯相当)    | グリーン未来ソーラー売電量<br>29,893kWh<br>定格出力376kW(110世帯相当)             |
| 平池水上太陽光発電所売電量<br>107,391kWh<br>定格出力1,260kW(368世帯相当) | 若宮物流センター太陽光発電所売電量<br>3,482kWh<br>定格出力47kW(14世帯相当)            |
| 深年太陽光発電所売電量<br>145,007kWh<br>定格出力1,550kW(453世帯相当)   | 広島物流センター太陽光発電所売電量<br>3,289kWh<br>定格出力47kW(14世帯相当)            |
|   | グリーンコープやまぐち生協西部地域本部太陽光発電所売電量<br>3,770kWh<br>定格出力54kW(16世帯相当) |